

奄美の力。

奄美大島の皆さまとともに、 とことん地方創生!



衆議院議員
やすおか宏武

保岡宏武衆議院議員は、奄美地方を含む自由民主党鹿児島県第一選挙区支部長として、奄美大島の皆さまとともに地方創生に取り組んでまいります。保岡宏武衆議院議員の奄美地方・奄美大島の政策と、国会での取り組みを特集します。

保岡宏武衆議院議員は、自民党所属の国会議員としての任期中、故保岡武久代議士、故保岡興治代議士、故徳田虎雄代議士、徳田毅代議士、金子万寿夫代議士が長年取り組んできた奄美群島振興開発特別措置法(奄美振興特措法)の延長に携わりました。「奄美の力」であった両代議士が取り組んできた政策を、与党の一員としてしっかりと引き継ぎさらに発展させるために、国会の場で奄美の現状と課題を政府に訴える重要な役目を務めています。この任期中も、遠藤利明党総務会長(当時)ら与党国会議員との政策勉強会を奄美で開催したほか、大雨災害ではいち早く被災地を野村農水大臣(当時)や森山奄振委員長と同行視察するなど、奄美と中央とのパイプ役を担い、地元奄美の声を政府に直接届けられる唯一の衆議院議員として活動をしています。保岡議員の思い入れが強い奄振特措法

は、奄美の伝統産業を守り振興開発の道を切り拓くために制定されたものであり、全国の離島振興のモデルケース、ひいては島国日本全体の政策にも影響を与える重要な法律です。奄美特措法成立後、時代の変遷に伴って逐次改正が行われてきましたが、今年の通常国会でもさらに奄美在住者にとって利便性が高い法律となるよう、保岡議員を中心に国会で訴えてきました。その結果、沖縄路線の運賃割引への支援追加や、関係人口の拡大及び移住支援事業に対する支援拡充などを軸とした改正が実現しています。

今後も保岡議員は奄美地方在住者の生活を守り抜き、奄美から地方創生を達成するために政策実現に取り組みます。具体的には、今回の特措法改正で明記された沖縄との連携強化を生かした奄美ブランドの国内外発信強化と併せた取組の強化や、アフターコロナで急速に回復しつつある外国人観光客誘客のための

奄美地方で取り組む政策

- 奄美出身者の冠婚葬祭等における航路・航空路運賃の軽減
- 奄美ブランドの国内外発信強化と沖縄との連携強化
- 外国人観光客誘客のためのWi-Fi環境整備や通訳の強化

奄美大島で取り組む政策

- 大島紬や黒糖焼酎などの島の産業振興
- ごみの漂流・漂着による漁業、環境への影響解消
- LCCの定期運行の定着、密漁・盗掘、外来種、オーバーツーリズム対策など世界自然遺産を活かした観光振興
- 街路灯や歩道など歩行者から自動車まで安心安全な道路環境整備

保岡宏武が取り組む奄美大島の政策(抜粋)

Wi-Fi環境整備や通訳士整備を与党内で共通認識となるよう働きかけます。さらに、奄美出身者の冠婚葬祭等における航路・航空路運賃の軽減など、奄振特措法の拡充も引き続き与党内で理解をいただけるよう訴えてまいります。

最前線 保岡宏武が取り組む 奄美大島の政策

保岡宏武衆議院議員は、国会開会式では大島紬の着用を着用し、日頃のネクタイも大島紬のものを着用するなど、永田町でも奄美大島のアピールを欠かさないことで知られています。大島紬生産者や黒糖製造従事者からは、文化産業の継続・後継者不足を不安視する声が上がっており、また資材高騰や輸送費の高騰による事業の継続を心配する声も上がっています。これらの奄美の伝統産業や地場産業、小規模事業者を守るために、事業継承に対する補助金や人材不足解消に取り組みます。



奄美大島でも辻立ちで挨拶活動を実施

ごみの漂流・漂着による漁業への影響は深刻な問題です。数年前に発生した軽石とあわせて県や市町村では対応がで



奄美群島農業農村整備事業推進協議会から要望受け

きない規模となっており、漁業者の生活にも影響がはじめています。景観美化や環境維持のためのクリーンアップ活動に携わるすべての方々に感謝をすることも、抜本的対策が必要な時期であると感じています。特に外国由来のごみも多くあるとみられることから、近隣諸国との外交においても漂着ごみ問題をしっかりと取り上げてもらえるよう、政府に強く求められています。

奄美大島が世界自然遺産に登録されてから3年が経ちました。コロナ禍が終わったことで観光客増が期待できる反面、密猟・盗掘、外来種、旅行客集中などといった課題があります。世界自然遺産の登録が維持できるよう、またLCCの定期運行の定着など新たな観光課題についても、国県市町村の連携をはかります。

奄美大島に暮らす方々からは、街路灯や歩道など歩行者から自動車まで安心安全な道路環境の整備についてご意見をいただくことが多くあります。交通インフラは生活の基盤であり、整備メンテナンスが適切に行われているか、しっかりと見守ります。

石破新総裁誕生

9月27日、自民党総裁選挙が党本部で行われ石破茂元幹事長が新総裁に選ばれました。地方創生を掲げる石破茂候補は鹿児島県でも人気が高く都市型の政治から地方に目を向けた政治へ転換が期待されます。保岡宏武衆議院議員は石破茂総裁候補の推薦人の一人として石破総裁の誕生に大きく貢献しました。



石破茂新総裁は今年で67歳。衆議院鳥取1区選出の当選12回で、これまで防衛庁長官、防衛大臣、農林水産大臣、地方創生担当大臣を務めたほか、党幹事長も務めるなど豊富な経歴で多くの支持を得てきました。

9月7日には鹿児島市内で講演し、毎年1回以上は鹿児島県に訪れていることや県が抱える現状に触れながら、地方創生への決意を述べました。また、政治とカネの問題についても「政治家の言うことは信用できない」という国民の声を払拭するのが政治改革だ」と持論を述べました。

保岡宏武衆議院議員は石破総裁候補の推薦人20名に加わり、総裁選全般で石破候補を支援し、全国遊説にも総裁選対策メンバーとして関わりました。

保岡議員は石破新総裁の誕生に際し「鹿児島2区は鹿児島・南薩・奄美と、まさに地方創生が必要な地域であり、地方創生を掲げ続けている石破さんを総裁候補として応援してきた。国会議員として初めての総裁選で、石破新総裁への多くの期待の声を感じた。石破新総裁と密接に連携できる関係ができたので、これからより一層、鹿児島の地方創生を強力に訴えていきたい」とコメントしました。

活動報告

保岡宏武衆議院議員は、東京と鹿児島を毎週往復して精力的に活動しています。保岡議員の東京での活動の一部を写真でお伝えします。



渋谷・鹿児島おはら祭りに参加



衆議院農林水産委員会で質問



与論町から国会見学に来た児童達と交流



党勢拡大に貢献(党員獲得28位)し、党本部で表彰



森山裕自民党幹事長と共に戦います

「みんなの笑顔、明るい未来へ。やり抜きます。やすおか宏武です。」

衆議院議員やすおか宏武事務所

奄美事務所
〒894-0027
奄美市名瀬末広町2-6-1 F 荒垣ビル
TEL 0997-57-1178
FAX 0997-57-1179

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館815号室
TEL 03-3508-7633
FAX 03-3508-3263



奄美の力。

衆議院議員保岡宏武プロフィール 1973年5月6日生まれ、家族は妻と男の子4人。奄美小、池田中、錦江湾高、青山学院大学法学部卒業、鹿児島大大学院修了(焼酎学修士)。2021年衆議院総選挙初当選、現在自民党鹿児島2区支部長。奄美振興特別委員会幹事。